

2005年11月7日

いすゞ、メキシコにて商用車の販売を開始

いすゞ自動車株式会社(以下いすゞ)は、この度メキシコにて、小型トラック「いすゞエルフ」の販売を開始した。現地での販売は、いすゞメキシコ(Isuzu Motors de Mexico S.de R.L.)にて行う。



販売開始にあたり、11月4日(金)に、メキシコシティにおいて、井田 義則(いすゞ社長)ならびに宮本 雅雄(三菱商事常務)出席のもと、ローンチング・セレモニーが盛大に行われた。このセレモニーには、成田駐メキシコ日本大使、メキシコ政府からルイス経済省次官をはじめ、多くの来賓が出席し事業の開始を祝った。

いすゞメキシコは、メキシコ市場でいすゞ車の輸入・販売を行うため、いすゞ・三菱商事株式会社(以下三菱商事)の合併で本年7月に設立された。

資本金は4千万メキシコペソ(約4億円)で、両社の出資比率はいすゞ 51%、三菱商事 49%となっている。

いすゞは、この度の日本・メキシコ間における経済連携協定(EPA)締結を機に、100万台の自動車市場規模を有するメキシコ市場に参入することとした。今回投入を開始するのは、小型トラック「いすゞエルフ」で、いすゞと三菱商事との協業の強みである商品力、マーケティング・ノウハウを活かし、2005年は300台(11月より)、2006年に1,800台、2007年には2,300台の販売を計画している。

いすゞは中期経営計画('05年4月~'08年3月)において、いすゞ車の海外販売台数の拡大を目指しており、海外販売体制の整備・強化に積極的に取り組んでいる。当件は、マレーシア、ベルギー、スペイン・ポルトガルでの販社設立、中国合併会社出資比率の引き上げ、オーストラリア販社の完全子会社化等による、海外販売体制の整備・強化に続くもの。

以上

<いすゞメキシコの概要>

会社名	Isuzu Motors de Mexico S.de R.L.
設立日	2005 年 7 月
所在地	メキシコ メキシコシティ市
資本金	4 千万メキシコペソ(約 4 億円)
株 主	いすゞ：51.0%、三菱商事：49.0%
販売網	メキシコシティ、モンテレー、グアダラハラ 計 3 拠点
主たる業務	メキシコにおけるいすゞ車輸入、販売